

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科	学年	2	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名							鈴木久美子	
衛生管理			必修 選択	必修	授業 形態	講義	時間数	30
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）								
美容サロンにて美容師として5年間実務経験があり、ヘアメイクアーティスト(フリーランス)として各種撮影(CM・広告・カタログ・東コレ・ウエディング)などのヘアメイクとして15年以上従事する。現在も主にブライダルヘアメイク、アテンドを担当するなど経験豊富な講師が担当する。美容業は不特定多数の人が利用するため感染症が伝播する危険性がある。感染症の正しい知識と拡大まん延予防対策などを学ぶことにより、お客様に安心していただける施術ができることを授業を通して理解をしていく。								
〔到達目標〕								
感染症には極めて多くの種類があるが、美容師が知っておくべきものはそれほど多くはない。個々の特徴や、共通する項目を勉強して、総合的な理解を得る。また国家試験の必須科目であるため、ワークブックや過去問題を中心に、正しい解答を導き出すことができるよう苦手箇所を克服し、国家試験合格を目指す								
〔使用教材、参考文献等〕				〔準備学習・時間外学習〕				
日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、まとめ資料、問題集等								
回	〔授業概要〕				到達目標(できるようになること)			
1	オリエンテーション、授業科目の概要や進め方、【感染症の総論】《人と感染症1》				疫病の歴史・結核・練習問題			
2	《人と感染症2・3・4》				感染症の発見の歴史・感染症と法律・感染症の分類(法律上一類・二類)			
3	フィードバック・《人と感染症4》				感染症の分類(法律上二類・三類)各感染症			
4	《人と感染症4》				感染症の分類(法律上四類)各感染症・練習問題			
5	《人と感染症4》《病原微生物1・2》				感染症の分類(法律上五類)(感染経路)(病原体別)・種類・形と大きさ			
6	《病原微生物3・4》				【細菌】微生物の構造・増殖と環境の影響			
7	フィードバック・《病原微生物3・4》《感染症の予防1・2・3》				【ウイルス】微生物の構造・増殖と環境の影響・練習問題			
8	《感染症の予防4》				免疫と予防接種・練習問題			
9	フィードバック・《感染症の予防5》				感染症発生の要因・練習問題			
10	《感染症の予防6》《主な感染症》《感染症表作成》				感染症予防の三原則・五類感染症			
11	フィードバック《主な感染症》				空気・飛沫・飲食を介して感染			
12	《主な感染症》《感染症表作成》				血会合・動物を介して感染			
13	フィードバック《感染症表作成》				感染症表(国家試験対策に使用)仕上げ・練習問題			
14	総まとめ・復習				定期試験対策			
15	定期試験(100点)				定期試験			
〔特記事項・授業時間外における学習〕				〔成績評価の方法と基準〕 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	2	開講 区分	前期	担当教員		
授業科目名								米山乃生子		
保健								必修 選択	必修	授業 形態
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）										
歯科医師免許取得後、9年以上の歯科医院での実務経験があり、また教育専門課程にて保健学、生物学などの講師歴20年以上の講師が保健学を教授します。										
〔到達目標〕										
国家試験(筆記)合格に向け、出題傾向とポイントを抑えることができる。										
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕					
保健の教科書										
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)				
1	人体の構造と機能7章「循環器系」前編 P50-52					・心臓や血管の役割やそれぞれの構造と機能が説明できる。				
2	人体の構造と機能7章「循環器系」後編 P52-55					・血液が体内をどんな目的でどのように流れているのか説明できる。				
3	人体の構造と機能8章「呼吸器系」 P56-59					・呼吸の役割や気道を構成する器官の構造や特徴を説明できる。				
4	人体の構造と機能9章「消化器系」前編 P60-65					・食物が体内でどう変化していくのか、消化管と消化運動について説明できる。				
5	人体の構造と機能9章「消化器系」後編 P61-67					・食品が分解され、栄養として吸収されるまでの過程を説明できる。 (消化腺と消化酵素)				
6	皮膚科学1章「皮膚の構造」前編 P70-74.103-104					・皮膚の役割・皮膚の表面の構造と特徴・皮膚の基本構造 ・表皮に住む細胞とそのはたらき・表皮の細胞層 について説明できる。				
7	皮膚科学1章「皮膚の構造」中編 P75-76					・表皮と真皮の境の構造とそのはたらき・真皮の構造とそのはたらき ・真皮に住む細胞とそのはたらき について説明できる。				
8	皮膚科学1章「皮膚の構造」後編 P77-79					・皮下組織に住む細胞とそのはたらき・皮下組織の役割・皮膚の部位による差 について説明できる。				
9	皮膚科学2章「皮膚付属器官の構造」前編 P80-86					・皮膚の付属器官とは・毛の構造、断面、型とその変化、成長周期と成長速度、 性状(化学構造)と美容の技術、立毛筋 について説明できる。				
10	皮膚科学2章+3.4章「脂腺と汗腺の構造と生理機能」中編 P86-88.92-93.99-101					・脂腺と汗腺の構造や分泌作用、成分の特徴などを説明できる。				
11	皮膚科学2章+3.4章「爪の性状や特徴、皮膚と皮膚付属器官の再生作用」後編 P88-89.104-105					・爪の性状(化学構造)や特徴・皮膚と皮膚付属器官の再生作用について説明でき る。				
12	皮膚科学3.4章「対外保護作用、体温調節作用、知覚作用、呼吸作用、吸収作用」 P90-93.94-98.121-123					・対外保護作用、体温調節作用、知覚作用、呼吸作用、吸収作用 について説明できる。				
13	皮膚科学5章「皮膚と皮膚付属器官の保健」前編 P106-110					・皮膚と体内病変や精神、栄養や嗜好品との関係について説明できる。				
14	定期試験					前期中に学習したことの全てをアウトプットし、合格点を獲得する。				
15	定期試験の解説					解説を聞き理解できていないところはこの場で理解する。				
〔特記事項・授業時間外における学習〕					〔成績評価の方法と基準〕					
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
					●評価方法 筆記試験にて評価する。 期末試験100点、(マークシート用紙を使用)にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科	学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名		化粧品化学					浅川 多加美			
				必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）										
美容サロンで美容師として30年以上の実務経験を有し、また美容師養成施設における化粧品化学の教員認定資格を持ち、国家試験合格という目標だけではなく、美容師として実際に扱う製品の例を挙げ、化粧品の知識の重要性を伝える授業を行います。美容サロンの経営にも携わっておりますので、使用する化粧品だけではなく、美容室開業に向けた準備に必要な化粧品など、幅広く伝え興味を持つ授業を実施します。										
〔到達目標〕										
化粧品の基礎となる原料の知識を増やし、後期の授業で学ぶことの土台ができるようにする。										
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕					
教科書、iPad、配布プリント、筆記用具										
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)				
1	化粧品総論					化粧品とは何かを理解する				
2	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと					トラブルや定義、安定性や安定性を理解する				
3	化粧品の成り立ち、水と親水性や溶媒					化粧品の種類や溶媒を知る				
4	油性原料					油性原料の種類や特性を知る				
5	界面活性剤					界面活性剤とは何かを理解する				
6	高分子化合物					高分子化合物の種類を知る				
7	色材					色材の種類を知り、特徴を理解する				
8	香料					香料の種類を知る				
9	製品を安定させる配合原料					安定させるための配合原料を理解する				
10	その他の機能性配合原料					機能性配合原料の役割を知る				
11	雑貨原料					雑貨原料の特性を知る				
12	復習					定期試験に向けて覚えていない箇所を知る				
13	復習					定期試験に向けて覚えたことの確認				
14	定期試験					不合格とならないよう覚えたことをアウトプットする				
15	振り返り					間違えた箇所の理解				
〔特記事項・授業時間外における学習〕					〔成績評価の方法と基準〕					
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)					
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、筆記試験にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	2	開講 区分	前期	担当教員			
授業科目名		文化論						松園 剛			
		必修 選択		必修		授業 形態	講義	時間数	30	授業 回数	15
〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
美容師免許、文化論教員資格認定を有する教員が、30年以上のサロンでの実務経験を活かし今日の美容業界になるまでの歴史を教授する。											
〔到達目標〕											
今日の美容業界になるまでの歴史をおおよそ理解して国家試験で合格点を出せる実力をつける。											
〔使用教材、参考文献等〕						〔準備学習・時間外学習〕					
文化論教科書						復習とコマシラの予習 例①・・・時間割					
回	〔授業概要〕					到達目標(できるようになること)					
1	6/17①③オリエンテーション及び第1章総論、2章「理美容業の歴史」1節、2節					講師自己紹介、授業の概要説明、1章「総論」2章日本の理美容業の歴史を理解する					
2	6/24①③2章「理美容業の歴史」3節、4節					近代、現代の学習と当該箇所過去出題例の理解					
3	6/24②④3章 ファッション文化史日本編1節					縄文・弥生・古墳時代の学習と当該箇所過去出題例の理解					
4	7/1①③3章 ファッション文化史日本編2節					古代の学習と当該箇所過去出題例の理解					
5	7/1②④3章 ファッション文化史日本編3～4節					中世の学習と当該箇所過去出題例の理解					
6	7/8①③3章 ファッション文化史日本編5節					近世(江戸時代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
7	7/8②④3章 ファッション文化史日本編6節中間試験範囲確認					近代(明治時代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
8	7/15①③定期試験					試験範囲1～7講(30点)					
9	7/15②④3章 ファッション文化史日本編7～8節					近代(大正～昭和20年)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
10	7/22①③3章 ファッション文化史日本編9節					現代(1945～1950年代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
11	7/22②④3章 ファッション文化史日本編10節					現代(1960～1970年代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
12	7/29①③3章 ファッション文化史日本編11節					現代(1980～1990年代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
13	7/29②④3章 ファッション文化史日本編12節					現代(2000～2010年代)の学習と当該箇所過去出題例の理解					
14	8/4①③定期試験					試験範囲1～13講(60点)					
15	8/4②④定期試験振り返り										
〔特記事項・授業時間外における学習〕						〔成績評価の方法と基準〕					
						●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 中間試験40点、期末試験60点、(筆記試験)にて採点を行う。					

2026年度 シラバス

※浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース	美容師科	学年	2	開講区分	前期	担当教員 金谷 毅	
授業科目名	美容技術理論	必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	60
【授業の学習内容と心構え】（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する） 美容師免許を有し、30年以上美容師としての現場経験がある教員が、サロンワークで必要な美容技術理論の知識を教授します。							
【到達目標】 国家試験（筆記）合格に向け、出題傾向とポイントを抑えることができる。							
【使用教材、参考文献等】 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 美容実習Ⅰ・Ⅱ			【準備学習・時間外学習】				
回	【授業概要】			到達目標(できるようになること)			
1.2	美容技術理論Ⅰ 序章 美容技術理論を学ぶにあたって：			・美容技術理論を学ぶ目的を説明できる			
3.4	1章 美容用具			・用具の用途と消毒方法を説明できる			
5.6	2章 シャンプーイング			・洗浄の三要素を説明できる			
7.8	3章 ヘアデザイン：			・錯視効果を説明できる			
9.10	4章 ヘアカットイング			・ワンレングス・グラデーション・レイヤーを説明できる			
11.12	4章 ヘアカットイング			・カットライン（水平・前上がり・前下がり）を説明できる			
13.14	5章 パーマネントウェーブ			・1剤・2剤の役割を説明できる			
15.16	6章 ヘアセッティング			・テンションと仕上がりの関係を説明できる			
17.18	7章 ヘアカラーリング			・明度・彩度・色相を説明できる			
19.20	7章 ヘアカラーリング			・補色関係を説明できる			
21.22	美容技術理論Ⅱ 8章 エステティック			・マッサージの基本手技を説明できる			
23.24	9章 ネイル技術：10章 メイクアップ			・爪の構造を説明できる ・メイクアップの目的を説明できる			
25.26	11章 日本髪：12章 着付けの理論と技術			・代表的な日本髪の種類を説明できる			
27.28	11章 日本髪：12章 着付けの理論と技術			・着物の各部名称を説明できる			
29.30	定期試験 振り返り			美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 国試過去問から出題/試験結果の振り返り			
【特記事項・授業時間外における学習】			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、（筆記試験）にて採点を行う。				

90分？

2026年度 シラバス

学科・コース		美容師科	学年	2	開講 区分	前期	担当教員	
授業科目名		神谷/阿部/高橋(主)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木						
美容実習			必修 選択	必修	授業 形態	実習	時間数	180
〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)								
現役美容師またはサロンでの実務経験3年以上の講師が、「ワインディング」「オールウェーブ」「カット」(衛生)の技術習得を行う。								
〔到達目標〕 国家試験課題の技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。								
〔使用教材、参考文献等〕				〔準備学習・時間外学習〕				
回	〔授業概要〕				到達目標(できるようになること)			
1.2	ワインディング				1年次に取得したワインディングの基礎技術を復習する			
3.4.5.6	ワインディング				部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる			
7.8.9.10	ワインディング				タイムを25分以内に確実に入れる			
11.12.13.14	ワインディング				タイムを23分以内に確実に入れる			
15.16.17.18	ワインディング				タイムを21分以内に確実に入れる			
19.20.21.22	ワインディング				タイムを20分以内に確実に入れる			
23.24.25.26	ワインディング				衛生の合格基準を理解する			
27.28.29.30	ワインディング				衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内に確実に入れる			
23.24.25.26	ワインディング				衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内に確実に入れる			
27.28.29.30	定期試験 定期試験振り返り				衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内で全頭を巻くことができる			
31.32	オールウェーブ				1年次に修得したオールウェーブの基礎技術を復習する			
33.34.35.36	オールウェーブ				部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる			
36.38.39.40	オールウェーブ				タイムを30分以内に確実に入れる			
41.42.43.44	オールウェーブ				タイムを28分以内に確実に入れる			
45.46.47.48	オールウェーブ				タイムを26分以内に確実に入れる			
49.50.51.52	オールウェーブ				タイムを25分以内に確実に入れる			
53.54.55.56	オールウェーブ				衛生の合格基準を理解する			
57.58.59.60	定期試験 定期試験振り返り				衛生の合格基準を満たし、タイムを25分以内で全頭を仕上げるができる			
61.62	カット				1年時に取得したカット技術を復習する			
63.64.65.66	カット				国家試験の手順を把握する			
67.68.69.70	カット				タイムを30分以内に確実に入れる			
71.72.73.74	カット				タイムを25分以内に確実に入れる			
75.76.77.78	カット				タイムを23分以内に確実に入れる			
79.80.81.82	カット				タイムを20分以内に確実に入れる			
83.84.85.86	カット				衛生の合格基準を理解する			
87.88.89.90	定期試験 振り返り				衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内で全頭を仕上げるができる			
〔特記事項・授業時間外における学習〕 評価方法 タイム内50点 再限度50点				〔成績評価の方法と基準〕 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(演習)にて採点を行う。 ワインディング、オールウェーブ、カット、それぞれの評価をあわせ、評価とする。				

2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		美容師科		学年	2	開講区分	前期	担当教員			
授業科目名		神谷 明日香									
就職講座		必修選択	必修	授業形態	講義	時間数	30	授業回数	15		
〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するかを具体的に記載する）											
美容実務3年、美容学校教務歴15年の教員が、自己分析を行い、就職先必須取得資格である国家試験合格への筆記対策を行い、また美容師として必要な社会人養育を行う。											
〔到達目標〕											
筆記国家試験課題『美容技術理論』『関係法規』を重点的に学び、正答率80%以上の問題を解くことができるようになる。											
〔使用教材、参考文献等〕					〔準備学習・時間外学習〕						
過去問、ipad											
回	〔授業概要〕				到達目標(できるようになること)						
1	認知特性理解、国家試験合格までのフロー共有				自身の認知特性を把握し、自分に合った勉強方法を知ることができる						
2	『美容技術理論』『関係法規』過去問				国家試験【筆記】の過去問を見て、出題傾向を知る						
3	実力確認試験				正答率80%以上の問題を解き、実力を測る						
4	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす						
5	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす						
6	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす						
7	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題が解けるようになる						
8	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題が解けるようになる						
9	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題が解けるようになる						
10	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる						
11	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる						
12	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる						
13	『美容技術理論』『関係法規』過去問				正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる						
14	定期試験				試験を行い、現状の学力を知る						
15	定期試験振り返り				振り返りを行い、苦手な傾向の問題を理解する						
〔特記事項・授業時間外における学習〕					〔成績評価の方法と基準〕						
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)						
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 定期試験100点 筆記試験						

2026年度 シラバス

※浜ベルエポック美容専門学校

学科・コース		学年	2	開講区分	前期	担当教員	
授業科目名						中村 崇志	
美容総合技術		必修選択	必修	授業形態	演習	時間数	60
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する) 20年以上の美容現場、美容学校経験がある講師が、美容室で求められるカット、カラー、シャンプーなどの基礎技術、知識の基礎を教授します。また多数の美容サロンも同席し現場で実践的に活用できる知識・技術を習得できます。 【到達目標】 "美容室で求められる基礎技術知識を理解し、基本を身につける。カットの姿勢やカラーの薬剤知識、塗布方法などを習得する。また相モデル演習を通して、お客様役・美容師役それぞれの気づきを学び、総合的なシャンプー技術を身につける。" 【使用教材、参考文献等】 ウイッグ(卸日に配ります)、クランプ、スプレイヤー、ハサミ、テーツコーム、ダックカール、ドライヤー、デンマンブラシ、ロールブラシ、カラー塗布用刷毛、カラーカップ、トレーニングクリーム、 【準備学習・時間外学習】							
回	【授業概要】	到達目標(できるようになること)					
1.2	業界研究	様々なサロンと交流をとり、就職活動に役立てる					
3.4	ハサミの持ち方、姿勢。ワンレングスカット	ハサミの持ち方から体の使い方、目線の合わせ方など					
5.6	ワンレングスカット	2回目に引き続き姿勢の定着を目標にまっすぐ切れるようになる					
7.8	ワンレングスカット、デンマンブロー、前髪の切り方、アイロンワーク	まっすぐ切れるようになり、ブラシワークを習得する。ストレートアイロンでまとめる					
9.10	カラー理論	座学でカラー剤のみならず「色」について理解を深める					
11.12	グレイカラー	トレーニングクリームを用いて白髪染めができるようになる					
13.14	ファッションカラー	トレーニングクリームを用いてファッションカラーができるようになる					
15.16	縦スライスのグラデーションカット	髪をリフトアップしてカットすることができる					
17.18	横スライスのグラデーションカット	前回と交差する形で横にパネルを持ってカットすることができる※テスト課題					
19.20	上手切りの姿勢練習、スクエアカット、ウルフカット	ロングウィッグを使い、トレンドのカットができるようになる					
21.22	セイムレイヤーカット	国家試験課題でも使用する上手切りができるようになる					
23.24	シャンプー	一連の流れを相モデルでできるようになる					
25.26	定期試験対策(横スライスのグラデーション)	8回目の行程を深掘りすることで頭の丸みを理解することができる					
27.28	定期試験	コームワークが上達し、快適なシザーワークができる					
29.30	定期試験振り返り、授業振り返り	一連の流れを相モデルでできるようになる					
【特記事項・授業時間外における学習】			【成績評価の方法と基準】 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 期末試験100点、(演習試験)にて採点を行う。				